

工芸会たより

No.62

題字製作 田中 秀子さん

施設長就任にあたって

施設長 藤川 保正



このたび、私六月一日付で工芸会ワークショップセンター施設長に就任いたしました。

就任前は、六月が近づくにつれ、創立百年を超える法人で、まだ福祉という概念が希薄な明治時代から、ろうあ者福祉に先達のご尽力されてこられた栄えある法人で、利用者も百人近くおられる施設の長が、はたして務まるのか、また、手話が全くできない自分を利用者の方が受け入れてくれるのかという不安と緊張でいっぱいでした。

しかしながら、前者の方はともかく、後者の方は就任日から、利用者の方々が温かい笑顔で迎えられ、気さくに手話で話しかけてこられ、緊張がかなりほぐれてきたものでした。

さて、障害者を取り巻く環境は、虐待防止や差別解消など権利擁護関係制度の整備は着々と進んでいます。社会福祉法人や障害者施設の財務面での環境は、少子高齢化に伴う社会保障制度改革から厳しい方向へ進んでいくのではないかと考えております。

そういう状況の中で、利用者の方に安全・安心だけでなく、より満足いくサービスを提供し、生き生きとした生活を送っていただけるよう職員一丸となって、職務に励んでまいります。

最後に、まずは、私の最初の仕事は、職員はもちろん利用者の皆様のお顔とお名前、それと（簡単な）手話を早く覚えることと思っておりますので、今後皆様方のご指導、ご支援をよろしく願います。

お花見会



今年のお花見会は、四月一日に福岡市西区の今津運動公園へ行きました。

数日前から天候が不安定で、利用者の皆さんは、当日の天気をとても心配されていましたが、当日の朝は雨が上がり曇り空、予定通りに出発しました。天候が心配なため早めの時間からお弁当を食べていると、雨がポツリポツリと降り始め、そして風が強くなり段々と激しい雨へと・・・。

急いでお弁当を食べ、工芸会へと戻ることになりました。ゆっくりと桜を見る事が出来ず残念でした。

来年のお花見会は、ポカポカ陽気になって欲しいですね。

軽作業

係長 谷口 洋也

皆さんからの声

平成二十七年度がスタートしました。平尾の地よりこの田尻へ移転して二十五年になります。住環境も九州大学の移転開学の進展により、めまぐるしく変化しています。利用者の方にとっては便利になってきている反面、交通量の増加により交通事故の心配もあり、日頃より利用者の皆さんには、自転車の乗り方や交通マナーについて注意を喚起している所です。

さて、平成二十七年度は、福祉施設の報酬単価の改訂が行われました。施設の報酬単価は、三年に一度見直しが行われます。新聞報道では、障害施設関係は0%改訂との報道もありましたが、細かく試算した結果、本年度の施設収入は減収となる見込みです。

”入るを量りて出ざるを制す”という「ことわざ」がありますが、日本の国家財政も非常に厳しい中で、福祉政策についても、毎年膨れ上がる福祉・医療費の抑制策が、私達の身近なところにもまで影響が出てきているのが実態です。

このような中にあり、工芸会の中でも利用者の皆さんが安心・安全で充実した施設生活を送っていただけるように考えていかなければなりません。平成二十七年度も、皆さんの声を大切にし、頑張りたいと思います。施設の方では、毎月、各作業場での懇談や施設長との懇談を行い、利用者の皆さんから直接意見をお聴きする機会を設けています。これ

までも、皆さんの声を反映し昨年度は温泉ツアーの実施や食事のメニューの変更、設備面での改善等を実施してきました。本年度は、四月六日よりこれまで懸案でありました皆さんの”アツアツ”のご飯を食べたいとの意見を取り入れ、これまでの配膳による給食の提供から、カフェテリア方式による提供方法に変更をして給食の提供を行っていません。食事の開始時間を五分程度早くして、一人ひとりカウンターに並んでいただき、これまでより若干お待たせをしますが、お鍋からアツアツの汁物やご飯を注いで提供を行っています。利用者の皆さんからは、アツアツで美味しいと大変好評を頂いています。残食の量も格段に減っている事も含め、大変良い傾向になったことを喜んでいきます。厳しい中で施設経営が求められる中、利用者の皆さんの声を大切にし、実現に向け職員の知恵を出し合いながら、作業の面そして生活面での充実を図って行かなければならないと考えています。

サービス管理部長 竹下貴



招待事業

プロ野球観戦

四月二十二日(木) 三十名参加
ソフトバンク 対 楽天
五月二十一日(木) 十四名参加
ソフトバンク 対 オリックス

スポンサーの各社様

ご招待ありがとうございました。

入浴マナー研修会

五月二十二日の自治会の時間を利用して、入浴のマナーについての研修会を行いました。



この研修会は、多くの利用者が毎日切れ目なしに浴室を利用することから、シャンプーの使い方や洗方を、入浴時のマナー向上のために、写真等を使いながら説明しました。

入浴には身体を清潔にするという目的もありますが、心身をリラックスさせるという効果もあります。その為には、個人個人のマナーも重要になってきます。互いに協力しながら、みなさんが気持ちの良い入浴時間を過ごせますように。

なごみ係



支援員 宮原七穂

移転開設記念行事



五月一日、平尾の地より田尻に移転して今年で二十五年になります。

移転開設記念式は、毎年の事とはいえとて新鮮な気持ちになります。

始めに行った風船バレーとペットボトルボウリングでは、作業場対抗で競い合い熱気に溢れ、大変盛り上がりしました。その後の記念式では保護者の方にも多数ご参加頂きました。

当時を振り返り、これまでの施設内外の変遷に色々な思いを巡らせたのではないのでしょうか。

昼食のバイキング料理をお腹いっぱい食べて、今年も充実した開設記念行事を終える事が出来ました。

縫製係

支援員 忠岡 徹

散策支援糸島ドライブ



五月二日、散策支援で糸島方面にドライブに行きました。快晴でドライブにはぴったりのお天気でした。

お弁当を持って、芥屋海水浴場に向かう道のりでは、松林や海が見え、きれいな景色にみなさん見入っておられました。

お弁当を、お腹いっぱい食べ、次の場所の「つまんでご卵」では、ソフトクリームを食べたり、動物とふれあったりと、のんびり楽しく過ごされている皆さんの姿を見てとても嬉しく思えた一日となりました。

縫製係

支援員 原田 博美

野外活動

六月二日に行われた野外活動、今年には宮若市にあるトヨタ自動車九州工場に行ってきました。

自動車が作られるラインのひとつの工程ごとに、利用者の方は、みなさん常に驚かれています。

しかし、一番楽しまれていたのは、展示されている車に乗っているときでした。

中にはオープンカーもありみなさん（職員含む）目をキラキラさせて普段握ることのないハンドルを手にとても楽しそうにされていました。



なごみ係支援員 仁科 崇

福岡市西区自衛消防隊操法大会

六月十三日、福岡市中央卸売市場「西部市場」に於いて開催された、第三十回西区自衛消防隊操法大会に出場させていただきました。今年は「入賞」を目標に、先輩方、利用者の方々の力を借りながら練習に取り組む、大会当日も練習の成果を出し切ることが出来ましたが、出場している他の事業所のレベルが高く、残念ながら「入賞」の夢は叶いませんでした。

しかし、利用者の方々の声援や、大会後には「惜しかったね」「お疲れ様でした」等の優しい言葉を頂くとともに、怪我もなく無事に大会を終えることができ、「出場して良かった」とあらためて感じました。



温かい声援

本当にありがとうございました！

縫製係支援員 村崎 悠助

工芸会ワークセンターまつり



11月15日(日)開催

毎年恒例

工芸会ワークセンターまつりの
日程が決まりました。

盛りだくさんの
イベントを予定しております

詳細は次号で！！



- 7月31日(金) 夕涼み会
- 8月13日(木)~15日(土) お盆休暇
- 10月 4日(日) 福岡市障がい者スポーツ大会
- 10月 社会見学旅行
- 本年度は10月に、3グループに
分かれて一泊旅行を計画中です。
詳細は、決まり次第お知らせ致します。
- 10月13日(火) 工芸会・田尻苑合同
レクリエーション大会
- 11月15日(日) 工芸会ワークセンターまつり

今後の予定・行事



木工係 縫製係



木工係・縫製係
車両の更新を行いました。

設備更新

平成二十七年六月一日付
施設長就任
藤川 保正

平成二十七年五月三十一日付
施設長退任
竹田 豊

平成二十七年四月二日付
副理事長就任
山田 裕嗣
常務理事就任
竹田 豊

平成二十七年四月一日付
副理事長退任
山部 洋一
常務理事退任
山田 裕嗣

役員就退任のお知らせ

平成二十七年六月十五日付
退所 加藤 龍也 さん

退所利用者の紹介

平成二十七年三月三十一日付
給食係 調理員補助
榎田 みち子

退職職員紹介

平成二十七年六月一日付
給食係 調理員補助
徳安 弘美

平成二十七年五月一日付
軽作業係 臨時生活支援員
高田 美穂

新職員紹介

平成二十七年六月一日付
庶務・経理係
田尻苑より工芸会に異動
係長 下川 桂一郎

平成二十七年六月一日付
庶務・経理係
工芸会より田尻苑に異動
係長 奥田 朋佳

人事異動のお知らせ

発行 社会福祉法人 福岡ろうあ福祉会
障害者支援施設 工芸会ワークセンター
〒819-0383
福岡市西区大字田尻2542番地
TEL 092-806-7774
FAX 092-806-8962
E-mail kougeikai@kougeikai.or.jp
URL http://www.kougeikai.or.jp

サービス管理係
支援員 稲吉 哲

工芸会ワークセンターたよりを作るのを楽しみにしていません。製作中の機関誌が仕上げに入ると同時に次号のベースを考えています。
しかし、毎回苦勞することもあります。それは、今、この「あとかぎ」を書いているときです。

あとかぎ